



蘇州工業園区最新情報

2021年2月

蘇州工業園区投資促進委員会

お問い合わせ：+86-512-66681528 +86-512-66681532 +86-512-66681560

蘇州工業園区現代大道 999 号現代ビル 15 階

目次

1. 園区 AEO 高級認証企業は 37 社を達した.....	1
2. 園区は全面的にサービス貿易のイノベーション発展を深める試行業務推進会 を開催.....	1
3. 康衆医療は上海証券取引所科学技術イノベーションボードに上場.....	1
4. 園区「スマート製造パートナー計画」は発表.....	2
5. 東南大学蘇州キャンパス共同建設についての調印式は開催.....	2
6. 園区はバイオ医薬企業・病院提携マッチングミーティングを開催.....	2
7. 園区は国家ハイテク産業開発区の第 4 位に昇格.....	3
8. 外国籍専門家は蘇州風春節を体験.....	3
9. 貝康医療は香港証券取引所で上場.....	3
10. 軌道交通 5 番線が試運転を開始.....	4
11. 園区百個以上の重点プロジェクトは集中に契約締結.....	4
12. 2020 年蘇州工業園區ビジネス環境第三者評価報告は発表.....	4
13. 園区は新政実施、長江デルタ地域の外国籍ハイエンド人材を相互認定.....	4
14. シンガポール、香港、東京三ヶ所の国際商務協力センターはプレート除幕.....	5
15. 蘇州工業園區は江蘇省第一陣中日韓（江蘇）産業協力示範園区と認定.....	5

1. 園区 AEO 高級認証企業は 37 社を達した

近日（2月1日）、園区税関が公表したデータによると、2020年、園区には新たに AEO 高級認証をした企業が 5 社で、総数は 37 社を達した。AEO 高級認証企業の輸出入総額は 3583 億円で、園区同期輸出入総額の約 55% を占めた。

「企業が高級認証を通過した後、低い検査率、通関手続きの優先処理など複数の便利な措置を受けることが可能で、通関の実効性と利便性が明らかに向上する。」園区税関企業管理处信用管理課の課長の劉小健氏の紹介によると、昨年、新型コロナウイルスによる肺炎の間に、税関は原産地信用査証を試行した。企業はネットで申告して税関の審査を通過した後、税関が予め査証した空白証明書のセルフ査証を利用することが可能で、現場で手続きをする必要がなく、大いに証明書発行の時間を節約した。

「AEO」制度は税関が信用状況、コンプライアンス程度及び安全管理が良好な企業に対して認証・認可を行い、認証を通過した企業に通関の優遇・便利な制度を適用する。

2. 康衆医療は上海証券取引所科学技術イノベーションボードに上場

2月1日午前、江蘇康衆医療科学技術股份有限公司は正式に上海証券取引所科学技術イノベーションボードに上場した。今まで、園区「上場軍団」の総数は 46 社を達し、そのうち、科学技術イノベーションボードの上場企業は 10 社である。



康衆医療は 2007 年に園区に定着され、専門的にデジタル化 X 線フラットパネルディテクターの研究開発、生産、販売とサービスに従事する会社である。同社は設立されてから、終始して自主研究開発と単独イノベーションを堅持し、製品の応用は工業、安全検査、ペット医療領域に拡大される。十年余りの怠らない努力を経て、同社は既にデジタル化 X 線フラットパネルディテクター業界の全世界で有名で、国内でリードする企業の一つになり、目前、年間で約 6000 台のデジタル化 X 線フラットパネルディテクターの生産能力を有している。

康衆医療革新製品のグローバル競争力と輸入代替能力は絶え間なく増強し、目前販売は全国及び海外 30 カ国・地域に広がっている。

3. 園区は全面的にサービス貿易のイノベーション発展を深める試行業務推進会を開催

2月2日、蘇州工業園区全面的にサービス貿易のイノベーション発展を深める試行業務推進会は開催され、園区共産党工作委員会の副書記、管理委員会主任の丁立新氏は同会議に出席して発言した。さらに新興サービス貿易領域にフォーカスし、新しい成長分野の育成に注力し、デジタル貿易という発展方向をつかみ、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、人工知能など新しい技術が研究開発設計、金融科学技術、文化創意、国際物流など各領

域の応用を推進し、情報インフラの改善に力を入れ、ゲーム、アニメなどデジタル文化領域にフォーカスし、蘇州のデジタル文化企業が対外に進出することを励むと彼は強調した。

4. 園区「スマート製造パートナー計画」は発表

2月3日午後、園区は正式に「スマート製造パートナー計画」を発表した。同「パートナー計画」は政府、ニーズ、サービス、協同の四大協力パートナーを集めることにより、四大サービス内容を提供し、四大業務流れを実施し、製造業のスマート化への改造とデジタル化へのモデル転換に最適な発展環境を作り出す。



今の時点で、園区は製造業企業計9千社以上を有し、電子情報と装備製造二つの2千億レベルの産業クラスターが形成され、バイオ医薬やナノ新材料などの新興産業も千億レベルに立ち上がった。

今回、園区は「スマート製造パートナー計画」を正式に打ち出し、区内のイノベーション協同資源をより一層利用し、製造業のスマート化への改造とデジタル化へのモデル転換に力を出す。方案によると、第一期「パートナー計画」は約百社の製造業企業を募集し、これらの企業のスマート化とデジタル化のニーズに対して、四つの「100%」サービスを提供する。「パートナー計画」に参加する全ての製造業企業に対して、スマート化への改造とデジタル化へのモデル転換プロジェクトを優先にサポートし、各レベルの政策支持と荣誉評定の合格に努力する。2023年まで、区内で各レベルの評定審査により認証されるスマート製造示範工場（生産現場）は計3百社以上を目指す。

5. 東南大学蘇州キャンパス共同建設についての調印式は開催

2月5日午後、蘇州市人民政府（蘇州工業園區管理委員会）は東南大学と協力して蘇州キャンパス共同建設についての調印式は開催された。江蘇省常務委員、蘇州市委員会書記の許昆林氏、東南大学校長、中国工程院院士の張広軍氏は調印式に立ち会った。

東南大学蘇州キャンパスは主に体制・メカニズム改革の深化、国際化ハイエンド人材の育成規模とモード、ハイレベルなローカル教師チームの建設、大規模公共研究開発プラットフォームの建設という四方面に力を入れて推進する。蘇州キャンパスは地元産業の発展ニーズと緊密に結び付け、バイオ医薬や人工知能などの専攻と方向を増やし、人材育成の規模と質をさらに向上させ、国内外のハイレベル人材を蘇州へイノベーション起業に引き付け、科学技術成果の移転・転化を推し進める。計画によると、2025年まで、東南大学蘇州キャンパスの在校生総人数はほぼ4500人に達し、ローカル専任教師と科学研究専従者は約280人、その内、高級専門家が約60人を占める。

6. 園区はバイオ医薬企業・病院提携マッチングミーティングを開催

2月5日午後、蘇州工業園區はバイオ医薬企業・病院提携マッチングミーティングを開催し、園区内17社のバイオ医薬企業と全市14社の医療機関の代表を誘って一堂に会し、もっ

と多く交流を展開し、提携チャンスを探し、関連の革新製品は率先して蘇州病院に入ること
を推進し、双方の提携・互恵を実現し、蘇州のバイオ医薬産業の加速発展を推進する。

マッチングミーティングでは、各企業代表は各自の発展状況を合わせ、研究開発の優位
性、特色製品などについて紹介し、また業務提携、プロジェクト研究、交流・学習、人員研
修などの方面について具体的な提携ニーズを出した。園区が長い間に政策、人材などの方面
で与えた支持を感謝すると会社らは続々と示した。企業の成長に伴い、もっと多い製品は臨
床と市場に入っており、会社も病院とつながりを築くことを切望し、これにより、もっと多
い良質な革新薬は病院に入り、患者に幸福をもたらす。

7. 園区は国家ハイテク産業開発区の第4位に昇格

2月6日、科学技術部タイマツハイテク産業開発センターは全国169の国家ハイテク産業
開発区に対する最新の評価結果を発表し、蘇州工業園区は総合ランキングが第4位となり、
去年よりさらにランクが1つ上がった。その中で、1級指標の一つである国際化とグローバ
ル競争力が全国第2位にランクインし、知識創造と技術イノベーション能力、産業構造のグ
レードアップと構造最適化能力、ハイテク産業開発区の持続可能な発展能力などの指標がい
ずれも上位にランクインした。

8. 外国籍専門家は蘇州風春節を体験

2月6日午後、蘇州市科学技術局、蘇州市園林と緑化管理局が主催した「外国籍専門家は
蘇州風春節を体験」イベントでは、米国、フランス、韓国、ブラジル、ナイジェリア、ジャ
マイカなどの国からの専門家十数名は蘇州庭園の留園で蘇州の年越し習俗の説明を聞き取
り、「福」字と春聯を書いたり、庭園を遊んだりして、蘇州風の春節を深く実感した。

昨年、蘇州は外国籍ハイエンド人材を前年同期比3.2%増の902人招致し、蘇州就業許可
証を持参する外国籍人材は累計で11509人に達し、その内、外国籍ハイエンド人材は4747人
で、それぞれ江蘇省全省の46.5%と56.1%を占める。蘇州の外国籍人材総数は中国全土の大
中都市で5位にランクする。

ここ数年、蘇州市は人材関連政策体系とサービス措置を持続に革新し、外国籍ハイエンド
人材の集中を推進し、9年連続で「魅力中国—外国籍人材の目で最も魅力のある中国都市」
に入選された。

9. 貝康医療は香港証券取引所で上場

2月8日午前、蘇州工業園区のもう1社のバイオ医薬リーディングカンパニーの蘇州貝
康医療株式有限公司は香港聯合証券取引所のメインボードで上場し、株式コード：2170、募
集資金総額は約18.2億香港ドルである。



貝康医療は2010年に園区で設立され、我が国第三世代試験管ベビー遺伝子検測試薬キット
業界のリーダーである。会社の「主力製品」PGT-A 試薬キットは着床前に胚胎の染色体異常
検測に用いられ、我が国の胚胎遺伝子検測の臨床的空白を埋めた。

貝康医療の運営總監の芮茂社氏の話によると、成功裏に香港証券取引所に上場したことは、企業にもっと多い資金、プラットフォーム、リソースの支援をもたらし、将来、会社は継続的に蘇州に立脚し、園區で上場会社本部基地を設立し、全国最大の生殖 IVD 産業チェーン及びハイエンド設備製造の上流・下流クラスターを作り出し、中国の補助生殖産業を国際市場に投入する。

10. 軌道交通 5 番線が試運転を開始

2月8日、蘇州軌道交通 5 番線が試運転を開始した。5 番線の全長は 44.1 キロメートルであり、34 のステーションを設け、片道約 70 分で、今年の 6 月末に試験運行を開始する予定である。

11. 園區百個以上の重点プロジェクトは集中に契約締結

2月19日午後、蘇州工業園區 2021 年重点プロジェクト集中調印式は金鷄湖國際コンベンションセンターで行われ、投資総額が 8 百億元を超える百個以上の重点プロジェクトは集中に契約を結ばれ。



調印式に参加したプロジェクトは：パナソニック住建空間中国営業本部、GNC アジア太平洋区域本部、住友商事都市業務本部、ボッシュ MEMS センサーテストプロジェクト、日立自動車新エネルギーコア部品研究開発生産基地、ダイキン中国研究開発センターなどの本部、研究開発サービス及び先進製造プロジェクトは 36 件、Certik 中国本部プロジェクト、科林利康臨床 CRO プラットフォームなどの科学技術イノベーションプロジェクトは 12 件、申万宏源証券有限公司蘇州支社、嘉会國際病院などの現代サービス業プロジェクトは 12 件、カタル CGI 中国投資本部などの越境投資プロジェクトは 12 件、荷塘天使基金、上海交通大学人工知能天使基金などの産業基金プロジェクトは 12 件がある。また、ダナハー診断連合研究開発製造基地、マイクロソフトアジア太平洋研究開発基地蘇州第二期、碩騰バイオワクチン研究開発製造プロジェクト、サノフィバイオ医学研究院、貝康医療など百個近くのプロジェクトは集中に着工・竣工・入居した。

12. 2020 年蘇州工業園區ビジネス環境第三者評価報告は発表

2月19日に開催された蘇州工業園區 2021 年重点プロジェクト集中調印式では、2020 年蘇州工業園區ビジネス環境第三者評価報告は発表された。国際有名なコンサルティング機関の KPMG は 2019 年に世界銀行の 10 指標を参考にしてシミュレーション評価を行った結果によると、園區ビジネス環境は国際ランキングの 27 位に立ち、2020 年の最新評価報告では、25 位に上昇した。

13. 園區は新政実施、長江デルタ地域の外国籍ハイエンド人材を相互認定

2月19日、『蘇州工業園區外國籍人材就職・生活におけるサービス便利化新措置』は正式に発表され、19の新しい便利化措置を打ち出した。蘇州は「外國籍人材の目で最も魅力のある中国都市トップテン」の一つである。現在、園區は江蘇省の約20%を占める1689人の外國籍ハイエンド人材を有する。

新政によると、今後、蘇州工業園區は長江デルタ地域の外國籍ハイエンド人材に対して、人材の相互認定を実施する。つまり、既に長江デルタ地域でA類就労許可証を取得している外國籍人材は、蘇州自由貿易区で就職する場合、関連證明書類の提出が不要で、直接外國籍ハイエンド人材と認定できる。イノベーション創業を兼業する場合、就労許可証と居留許可証の再度申請・変更も不要。

ポッシュ自動車部品（蘇州）有限公司執行總裁のAndary氏は、「今回の新政は企業にとって非常にいいチャンスであり、外國籍の専門家達はもっと自由に科学研究と學術交流を行うことができ、ここで彼らのアイデアを叶える。」と示した。

14. シンガポール、香港、東京三ヶ所の國際商務協力センターはプレート除幕

2月19日、蘇州市人民代表大會常務委員會主任の陳振一氏、蘇州市政治協商會議主席の周偉強氏、蘇州副市長の楊知評氏は共同でシンガポール、香港、東京三ヶ所の國際商務協力センターにプレート除幕を行った。



長い間、園區は世界中でイノベーション資源を集めて配置し、國際と国内二つの市場、二種類の資源利用を重視し、イノベーションの「触角」を積極的に前に伸ばし、既にシリコンバレー、イスラエルのテルアビブ、英国のロンドンなどイノベーション資源の集中地域で海外イノベーションセンターを設立し、良い効果を収めた。新たな發展構造の構築により良く溶け込んでサービスを提供し、投資を拡大してグローバルネットの建設を促進するため、園區はまたシンガポール、東京、香港三ヶ所で國際商務協力センターを設立し、企業・人材招致の「触角」を海外に伸ばし、企業の海外サービスプラットフォームを積極的に作り上げる。

15. 蘇州工業園區は江蘇省第一陣中日韓（江蘇）産業協力示範園區と認定

江蘇省と日本、韓国との産業協力をより一層深め、産業、科学技術、貿易、投資など多分野でのハイレベルな開放協力の新しいプラットフォームを構築し、中日韓地方協力の循環体系と新たな成長ポイントを創り出すため、集中的な評価・審査を行った上、江蘇省商務庁より南京經濟技術開發区、無錫ハイテク産業開發区、常州ハイテク産業開發区、蘇州工業園區、蘇州ハイテク産業開發区などの7開發区は第一陣中日韓（江蘇）産業協力示範園區と認定され、各自の産業發展状況と合わせて、日本、韓国との産業協力深化についての建設實施案を策定し、さらに發展優位性を詳しく分析し、發展方向を明確させ、具体的な支持政策と工作措置を制定するよう第一陣示範園區に要求した。